

令和元年度 千秋公園さくら樹勢調査結果

1 調査概要

(1) 調査目的

個々のさくらの樹勢を把握し、樹勢に応じた適切な整備を行うため。

(2) 調査対象

園内の桜 665 本(全 696 本のうち、新規植栽された 16 本と、未評価項目のある 12 本を除いた本数)

(3) 調査時期

春季調査 4月 15 日から 5月 18 日まで実施

夏季調査 7月 1 日から 7月 26 日まで実施

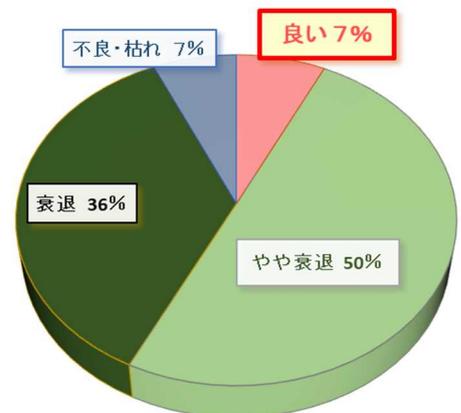
2 調査結果

ソメイヨシノなど一般的な桜は、花芽や枝葉の状態を観察することで、大方の樹勢診断ができると言われていています。千秋公園の桜につきましても、そのような点に着目し、春と夏の調査結果を総合的に判断した結果、次のとおりとなりました。

樹勢が良いとされる桜は全体の 1 割にも満たず、衰退又は不良・枯れの桜が全体の 4 割を超えていると評価されました。

総合評価

評価	本数	割合 (%)
旺盛	0	0.0
良い	48	7.2
やや衰退	332	49.9
衰退	240	36.1
不良・枯れ	45	6.8
合計	665	100



※円グラフは小数点以下切り上げ